

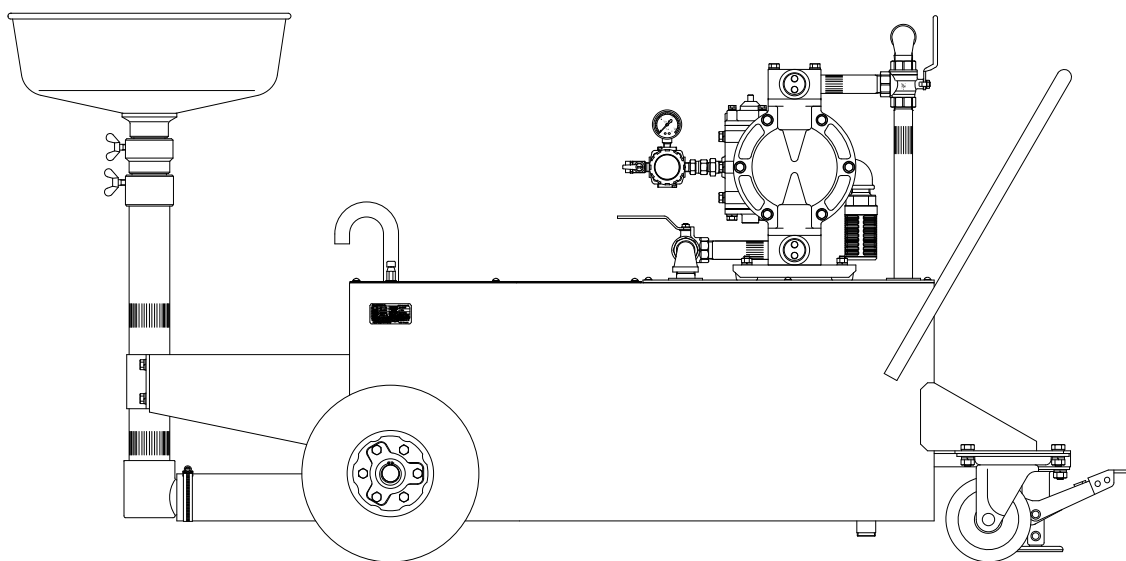


取扱説明書

DC-100 ドレンカート (廃油受)

DC-100 ITEM No. 880576

DC-100NP ITEM No. 880896



⚠ 警告

安全のため、本製品のご使用前には必ずこの取扱説明書を熟読し、記載されている重要警告事項を良く理解してください。
また、本取扱説明書をいつでも使用できるよう大切に保管してください。

YAMADA CORPORATION

はじめに

このたびは、弊社製品をご購入頂き、誠にありがとうございます。この取扱説明書には、ご購入頂いた製品を安全且つ快適にお使い頂くための方法が記載されております。ご使用される前に、良くお読みになり、内容を理解したうえでご使用ください。

なお、ご使用中にご不明の点、不具合などがありましたら、お買い上げの販売店、または、裏面記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

目次


1. 使用目的	2
2. 警告・注意事項	2
3. 使用上の注意事項	2
4. 各部の名称	
4-1. 梱包内容	3
5. 使用前の準備	3
6. 使用方法	4
7. 廃油移し替え方法	4
8. 廃油の吸込み方法	5
9. 保守・点検	
9-1. 故障の点検とその対策	6
9-2. 保守	7
9-3. 分解・組立	7
10. 部品分解図・パーツリスト	11
11. 主要諸元	13
12. 製品保証登録シート	14
13. 保証規定	15


1. 使用目的

本製品は、廃油タンク容量が 100 L の大型車用オイルドレンです。
本製品は、ミッション、エンジン、デフオイルの廃油専用です。ブレーキオイルには使用しないでください。


2. 警告・注意事項


本製品を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。
本書では、警告及び注意事項を絵によって表示しています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき操作を行う方や周囲にいる方々に加えられる恐れのある人身事故や、周囲にある物品への損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解いただくようによくお読みください。

 **警告**： この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。

 **注意**： この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、及び物的損害が発生する可能性があることを示しています。




また、危害や損害の内容を示すために、上記の表示とともに以下の絵表示を使用しています。





 この表示は、してはいけない行為（禁止事項）であることをあらわしています。
表示の脇には具体的な禁止内容が示されています。

 この表示は、必ず従っていただく内容であることをあらわしています。表示の脇には具体的な指示内容が示されています。

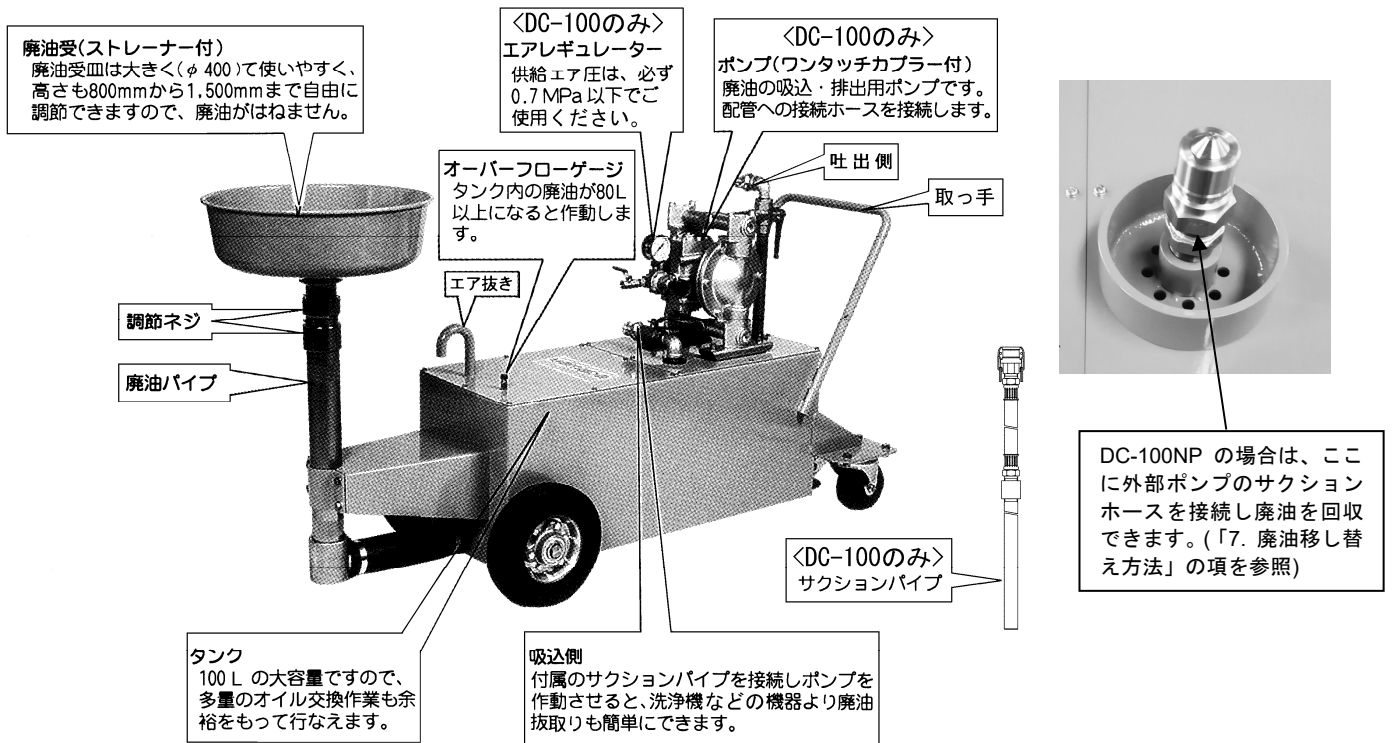
3. 使用上の注意事項

下記の警告・注意事項は大変重要ですので、必ず守ってください。

 警告	
	- 本製品で取扱う廃油は、地面などに直接排出しないでください。 廃油の処分は、適用される法規に従って処理してください。
	- 本製品は操作の性質上高温の廃油を取扱うことがあります。十分に注意し、ヤケドを負わないようにしてください。

 注意	
	- 作業中及び作業終了後は、不用意に動かないよう、必ずキャスターのストッパーを確実にロックしてください。 転倒などによりオイルが流出し、施設を汚染するなど二次災害については、使用者側の責任になります。
	- (DC-100 のみ) ポンプへの供給エア圧力は、必ず 0.7 MPa 以下でご使用ください。0.7 MPa を超えてご使用になりますと、故障の原因となるばかりでなく、破損などの事故になる場合があります。元圧が 0.7 MPa を超えている場合は、エアレギュレーターで調整してください。
	- ドレン受けの高さの調整の際、指などを挟まれますと思わぬケガをします。 高さ調整を行う場合は、十分に注意してください。

4. 各部の名称



4-1. 梱包内容

本製品は、木枠にて梱包してあります。

開梱後、直ちに輸送中の損傷がないか及び付属品の欠品がないか確認してください。

また、締結部及び配管接続部の緩みがないか確認してください。緩みがある場合は、増締めを行ってください。

5. 使用前の準備

⚠ 注意

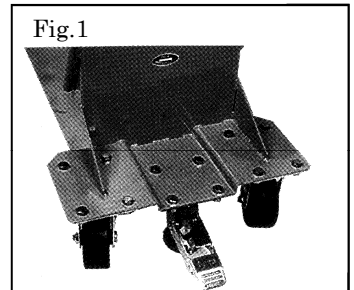
- ❗ 配管の接続を行う際には、オネジ部にシール材(またはシールテープ)を塗布し緩まないよう確実に締込んでください。
シール材が配管内に入らないように注意してください。
(ただし、ホースユニオンに接続する場合は塗布しません。)
配管接続後、各部の漏れがないか、また導通されているかを確認してください。

オイルを抜く前にタンク内の廃油残量をあらかじめチェックし、使用中オーバーフローしないよう注意してください。本製品にはオーバーフローゲージが装備されています。タンク内の廃油量が 80 L になるとゲージが上がり始め 100 L で一番高くまで上がります。(蓋面より約 7 cm 位まで上がります。)

6. 使用方法

⚠ 警告	
⊘	本製品で取扱う廃油は、地面などに直接排出しないでください。 廃油の処分は、適用される法規に従って処理してください。

⚠ 注意	
⊘	本製品は、ミッション、エンジン、デフオイルの廃油専用です。 ブレーキオイルは絶対に使用しないでください。
!	作業中及び作業終了後は、不用意に動かないよう、必ずキャスターのストッパーを 確実にロックしてください。(Fig.1)
!	ドレン受けの高さの調整の際、指などを挟まれますと思われケガをします。 高さ調整を行う場合は、十分に注意してください。



- リフトアップした車両のドレン穴の下に本製品を正しくセットしてください。
- デフオイルを抜く場合は、ドレンプラグが真下よりやや斜めにある場合が多いので、廃油受を少しずらして、プラグを外したときに正確にオイルを受けられる位置にセットするよう注意してください。
- 廃油受の高さを車両に合わせ、調整してください。
高さの調整は、廃油パイプを固定している調整ネジを緩め、廃油パイプを適正な位置まで伸ばしてから、再び調整ネジを締めて固定してください。

NOTE 廃油パイプは一段式です。最大 1,590 mm の高さまで伸ばすことができます。

- 廃油受にはストレーナーがついており、廃油の状況（異物、金属片など）のチェックにも利用できます。
ストレーナーの目詰まりによるオーバーフローに注意してください。
- 作業中オーバーフローゲージが蓋面より上がり始めたら、廃油タンクが満量になります。
直ちに作業を中止し、廃油の処理を行ってください。
- 作業が終了したら調整ネジを緩め、廃油受の高さを元の位置まで戻しておいてください。

7. 廃油移し替え方法

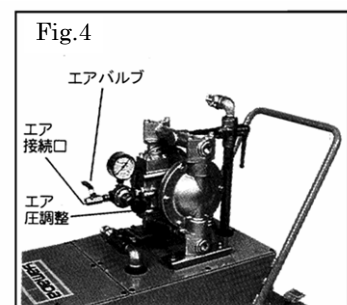
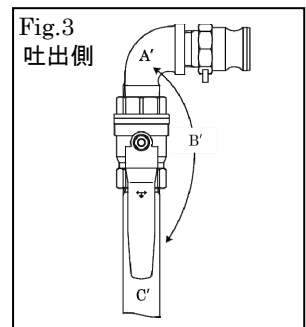
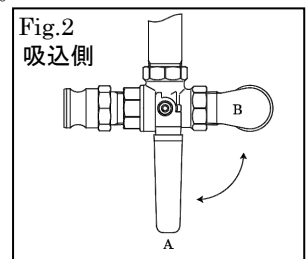
廃油タンクが満量になりましたら、下記の要領でタンクの廃油を移し替えてください。

<DC-100>

⚠ 注意	
!	ポンプへの供給エア圧力は、必ず 0.7 MPa 以下で使用してください。 元圧が 0.7 MPa を超える場合は、エアレギュレーターにて 0.7 MPa 以下に調整してご使用ください。

- ワンタッチカップラーのついたホースなどでポンプの吐出口と配管とを接続してください。
- 吸込側のバルブを「A」の位置に、吐出側のバルブを「A'」の位置に合わせてください。(Fig.2, Fig.3)
- エアバルブを「閉」の位置にしてから、コンプレッサーからのエアホースをエアレギュレーターに接続してください。(Fig.4)
- エアレギュレーターのツマミを左（反時計方向）に回し、圧力計の指針を“0”に戻してから、配管のバルブを開き、エアバルブを開いてください。(Fig.4)
- エアレギュレーターのツマミを徐々に右（時計方向）に回してください。供給エア圧が 0.15~0.2 MPa でポンプが作動し、タンク内の廃油を配管に移送します。

NOTE ポンプを最初に使用するときは、エアを供給する前にリセットボタンを押してください。

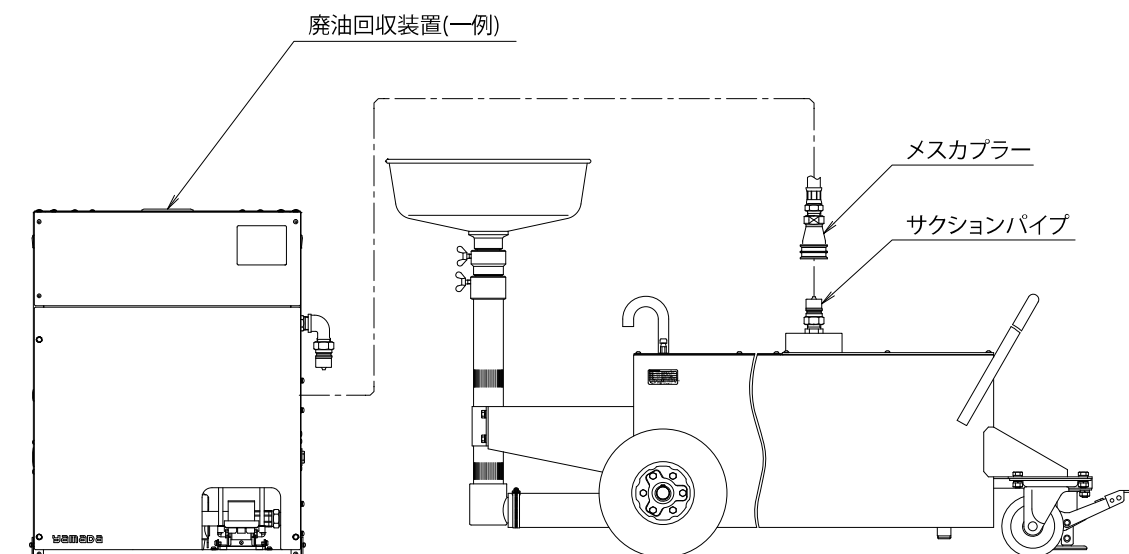


- 6) タンク内の廃油が少なくなると、ポンプは空打ちします。
エアバルブを閉じポンプを停止させ、配管のバルブを閉じてください。
- 7) 廃油用ドラムが満量、またはポンプを途中で停止させたい場合は、エアバルブを「閉」にしますとポンプは止まります。
- 8) 吐出側のバルブを「B」の位置に合わせ、ホース内の圧力を抜いてください。(Fig.2 参照)
- 9) 吐出側のバルブを「C」の位置にし、廃油排出用ホースとエアホースを外してください。(Fig.3 参照)

<DC-100NP>

※DC-100NP 内のオイルを抜取る場合は、別途メスカプラー付の廃油回収装置が必要となります。

- 1) サクションパイプにメスカプラーを接続してください。
- 2) 相手の廃油回収装置を動かし、タンク内の廃油を回収してください。



8. 廃油の吸込み方法<DC-100>

ピットなどに溜まった廃油も、付属のサクシヨンチューブを利用し、吸取することができます。

- 1) 付属のサクシヨンパイプを吸込口に接続してください。
- 2) 吸込側のバルブを「B」の位置に、吐出側のバルブを「C」の位置に合わせてください。
(Fig.2, Fig.3)
- 3) エアバルブを「閉」にしてから、コンプレッサーからのエアホースをエアレギュレーターに接続してください。
- 4) エアレギュレーターのつまみを左（反時計方向）に回し、圧力計の指針を“0”に戻してから、エアバルブを開いてください。(Fig.4)
- 5) エアレギュレーターのつまみを徐々に右（時計方向）に回してください。
供給エア圧が 0.15~0.2 MPa でポンプが作動し、サクシヨンパイプの操作をすることにより廃油を吸込むことができます。
- 6) 作業が終了したらエアバルブを閉じて、吸込側のバルブを「A」の位置に合わせてください。ポンプは停止します。
- 7) サクシヨンパイプとエアホースを外して作業は完了です。

9. 保守・点検

9-1. 故障の点検とその対策<DC-100>

状況	点検方法	対策
ポンプが作動しない	供給エアは正常か → ポンプにエアが来ていなければ コンプレッサーは正常か → エアバルブは開いているか → エアレギュレーター、エアフィルターは詰まっているか → ポンプにエアが来ている (リセットボタンを押しても作動しない) ダイアフラム室を分解、異物がないか → 切換部を分解、スプール、ロッドがかじっていないか →	0.2~0.7 MPa の間でエアの調整 点検・修理 点検 点検・交換 清掃 修理を依頼 ※
ポンプは作動するが廃油が出ない	ダイアフラム室を分解（「9-3.分解・組立」の項参照） ダイアフラムは破損していないか → バルブが破損、摩耗していないか → バルブが詰まっているか →	交換 修理を依頼 ※ 清掃
廃油は出るが流量が少ない	供給エア圧を上げて変わらない コンプレッサーは正常か → エアレギュレーターは正常か → サイレンサーは詰まっているか → 吸込口、吐出口が詰まっているか → エア切換機構が凍結していないか → ダイアフラム室を分解（「9-3.分解・組立」の項参照） ダイアフラムが片側破損していないか → バルブが詰まっているか → スラリーが滞留し、ポンプディスプレイメントが減少していないか →	点検・修理 点検・修理 交換 清掃 解凍・吐出量を減らす 交換 清掃 点検・清掃
排気口に材料が出てくる	ダイアフラム室を分解（「9-3.分解・組立」の項参照） 片側のダイアフラムが破損していないか →	交換
ポンプ作動中大量のエアが漏れる エア排気口から廃油がたれる	切換部を分解（「9-3.分解・組立」の項参照） ゴミが詰まっているか → スプールがかじっていないか →	清掃 点検・交換

※お買い上げの販売店、または裏面記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

9-2. 保守




- ストレーナーが目詰まりを起こしたまま使用しますと、流れが悪くなり、廃油受からオーバーフローしてしまいます。時々、取外して清掃してください。
- 本製品は、廃油などによって汚れやすいので、常に清掃に心がけてください。

<DC-100>

- ポンプのルブリケーションのため、エア供給口から定期的に少量の潤滑油を注油してください。潤滑油はタービン油 #90 相当のオイルを使用してください。
- 付属のダイヤフラムポンプに使用されているダイヤフラム、ボール、バルブシートは消耗品です。使用状況により交換時期は異なりますので、定期的に点検し交換を行ってください。

9-3. 分解・組立<DC-100>

- ※ 分解に先立ち、供給エアを切り離し、吸込側・吐出側の配管を取外してください。
- ※ ポンプ内に廃油の残りがある場合は、できるだけ排出しておいてください。
- ※ 組立時の間違いを防ぐため、アウトマニホールド、インマニホールドとアウトチャンバー、また、アウトチャンバーとエアチャンバーに、各々、合いマークをつけておくと組立時に便利です。

 注意	
	– ガソリンは高揮発性の燃料です。洗浄などに絶対に使用しないでください。 引火・爆発の恐れがあります。
	– メンテナンスなどで部品を外す際の人身事故防止のために、修理を開始する前には、必ずポンプへのエアの供給を停止してください。

<ボール、バルブシートの分解・点検>

- 1) アウトマニホールドを取外してください。
 - アウトマニホールドは、マニホールド上部のボルト（4本）を緩めて取外せば本体と分離します。
- 2) アウト側（上部）のボール、バルブシートを取出してください。
 - ボール、バルブシートはマニホールドを取外した後の本体（アウトチャンバー上部）から右図の順で取出せます。
- 3) インマニホールドを取外してください。
 - インマニホールドは、本体下側、取付ベースの下ボルト（4本）を緩めて取外せば本体と分離します。
- 4) イン側のボール、バルブシートを取出してください。
 - イン側の分解に際してはポンプを逆さまに置くと作業が楽に行えます。
 - ボール、バルブシートは本体（アウトチャンバー下側）から右図の順で取出せます。
- 5) ボール、バルブシート、Oリングを点検し、摩耗・キズなどの欠損、膨潤がある場合、または指定交換時期の場合には新品と交換してください。
- 6) ボール、バルブシートなどの点検が終了したら、続いてダイヤフラムの点検を行ってください。

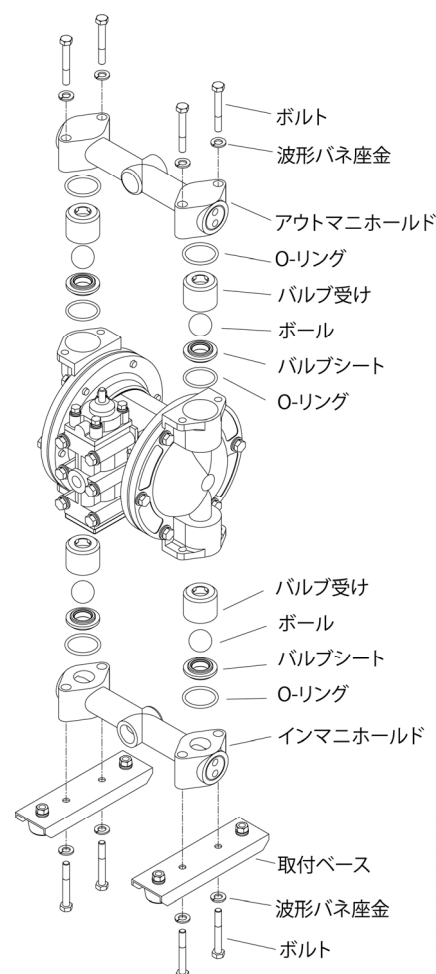


Fig.5

<ダイアフラムの分解・点検>

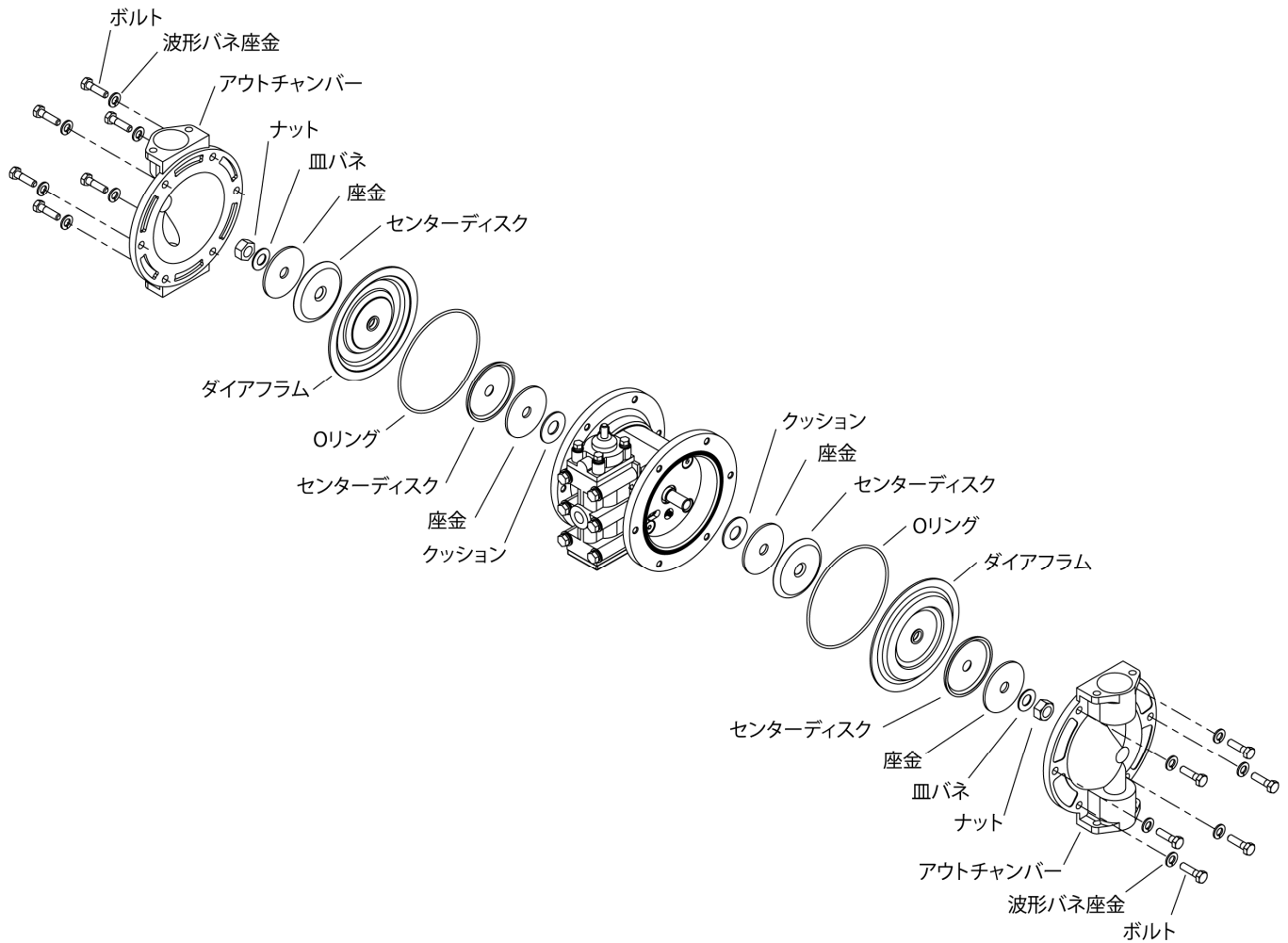


Fig.6

- 1) 左右のアウトチャンバーを取外してください。
 - ・アウトチャンバーは、アウトチャンバー周囲のボルト（6本）を緩めて取出せば分解できます。

- 2) 左右のダイアフラムを取外してください。
 - ・ダイアフラムは、ダイアフラム中央のナットを緩めて取外しますと、上図の順で分解できます。
 - ・ナットを緩めるときは、左右のナットにスパナを掛けて緩めてください。もし、一方のナットを外した後、もう一方のナットが固くセンターロッドが回ってしまう場合には、キズをつけないように、アルミ板などで保護しバイスで固定、他方のナットを取外してください。
もし、現場作業などでバイス台が身近にない場合は、先に外した方のナットと、別に用意した M14 ナットでダブルナットにして固定し、他方を緩めてください。
 - ・ダイアフラムの分解の際、センターロッドにはパイプレンチなどを掛けしないでください。

- 3) ダイアフラムを点検し、キズなどの欠損、膨潤がある場合、または指定交換時期の場合には新品と交換してください。

<ダイアフラムの組付け>

- 1) 新しいダイアフラムの組付けをセンターロッドの出ている側から始めてください。

- ・クッションがセットされていることを確認してください。
- ・Fig.7 を参照の上、組付けの順序、部品の方向に注意し各部品をセンターロッドに組付け、皿バネを入れてナットで固定してください。
- ・ダイアフラムは「OUT SIDE」の刻印のある側を外側にして組付けてください。

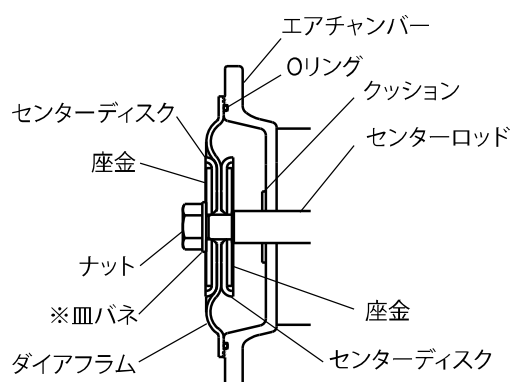


Fig.7

- 2) もう一方のダイアフラムを組付けてください。

- ・一方のダイアフラムを組付けたら、センターロッドを反対側に押し出し、1)と同様の方法でもう一方のダイアフラムを組付けてください。

- 3) 左右のナットを締付けてください。

- ・左右のダイアフラムを正しく組付けたら、左右のナットにスパナを掛け、強く締込んでください。
- ※皿バネは凸側を外、ナット側にして組付けてください。

締付トルク : 40 N・m

- 4) アウトチャンバーの組付けをダイアフラムの押出されている側から始めてください。

- ・ダイアフラムの周囲が、エアチャンバーとアウトチャンバーの間に確実にセットされるように注意してください。

- 5) アウトチャンバーを仮止めしてください。

- ・アウトチャンバーの周囲のボルト (6本) を元通りに組付け、軽く締付けてください。

- 6) もう一方の側のアウトチャンバーを組付けてください。

- ・一方のアウトチャンバーを組付けたら、内側のセンターディスクにレンチなどを掛けて、センターロッドを反対側に引出し、1)と同様の方法でもう一方のアウトチャンバーを組付けてください。

- 7) 両側のアウトチャンバーを組付けたら、マニホールドとの接続部分の平面度を調整してください。

- ・平らな面に本体をのせ、マニホールドとの取付面がぴったりと安定するように調整します。
- この部分の平面が出ていないとマニホールドの組付けが行えません。

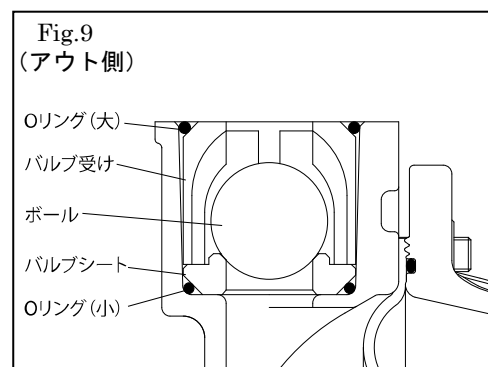
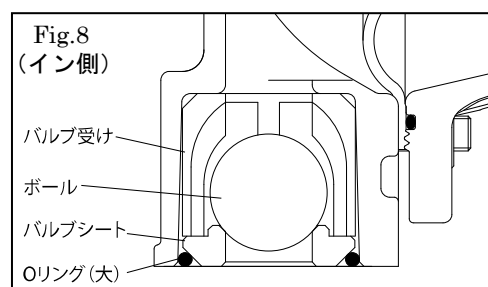
- 8) 左右のアウトチャンバーのボルト (各6本) を確実に締付けてください。

- ・ボルトの締付けは、対角線上のボルトを交互に平均した力で全てのボルトを確実に締付けてください。

締付トルク : 13 N・m

＜ボール、バルブシートの組付け＞

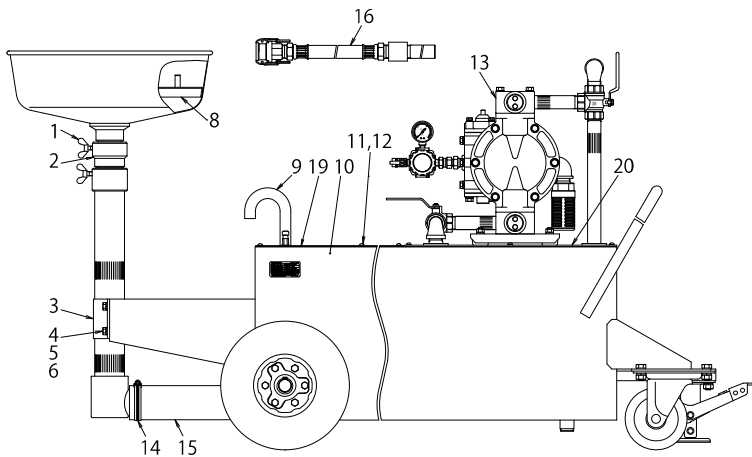
- 1) イン側のボール、バルブシートなどを組込んでください。
 - ・イン側の組付けは、ポンプを逆さまに置くと作業が楽に行えます。
 - ・Fig.8を参照の上、組付け順序、シートの方向に注意し、各部品を本体（アウトチャンバー下側）に組込んでください。
- 2) インマニホールドを組付けてください。
 - ・ボールなどを組込んだ本体にインマニホールド、取付ベースの順でセット、ボルト（4本）で確実に固定してください。
 - 締付トルク：10 N・m
- 3) アウト側のボール、バルブシートなどを組込んでください。
 - ・Fig.9を参照の上、組付け順序、シートの方向に注意し、各部品を本体（アウトチャンバー上側）に組込んでください。
- 4) アウトマニホールドを組付けてください。
 - ・ボールなどを組込んだ本体にアウトマニホールドをセット、ボルト（4本）で確実に固定してください。
 - 締付トルク：10 N・m
- 5) 以上でボール、ダイヤフラムの交換は終了ですが、最後に各部の締付けを点検してください。



10. 部品分解図・パーツリスト

880576 DC-100

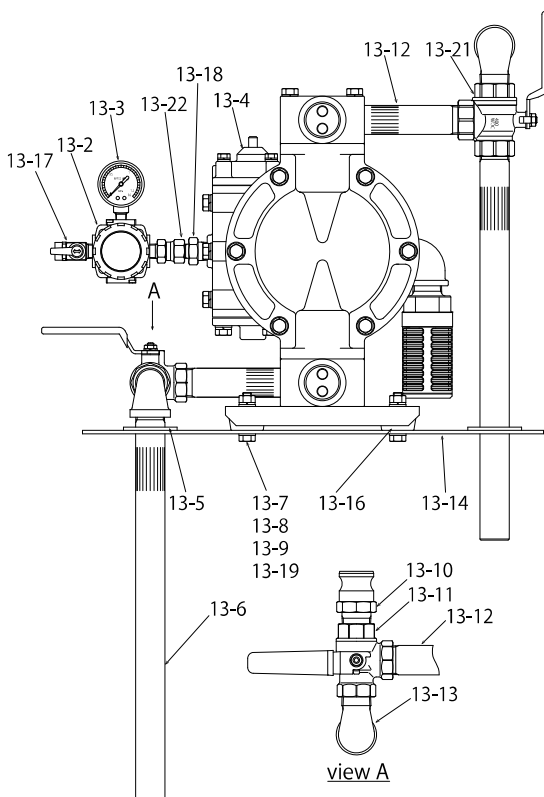
880896 DC-100NP



No.	部品番号	部品名称	員数
1	610639	蝶ボルト	2
2	802582	油受け組立	1
3	710834	フランジ	1
4	611149	ボルト	4
5	631013	平座金(880576)	8
	631420	平座金(880896)	6
6	631420	バネ座金	4
8	831282	アミ組立	1
9	802287	フタ組立	1
10	802288	タンク組立	1
11	602284	ナベ小ネジ	16
12	631011	平座金	16
13	851701	ダイヤフラムポンプ組立	1
14	683273	ホースバンド	2
15	686583	耐油ホース	1
16	802297	サクシオンホース組立	1
19	771929	パッキン	2
20	805300	蓋組立	1

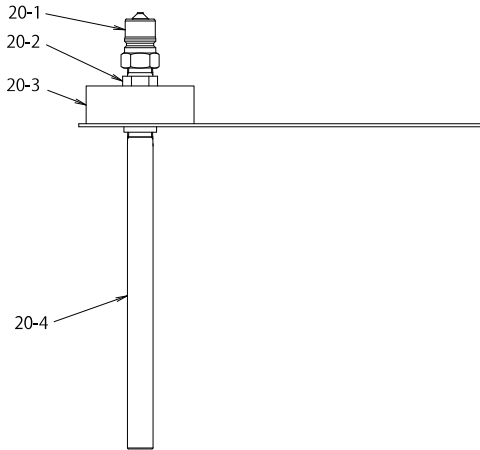
※ 805300(蓋組立)は880896のみに組付け

851701 ダイアフラムポンプ組立 (DC-100用)



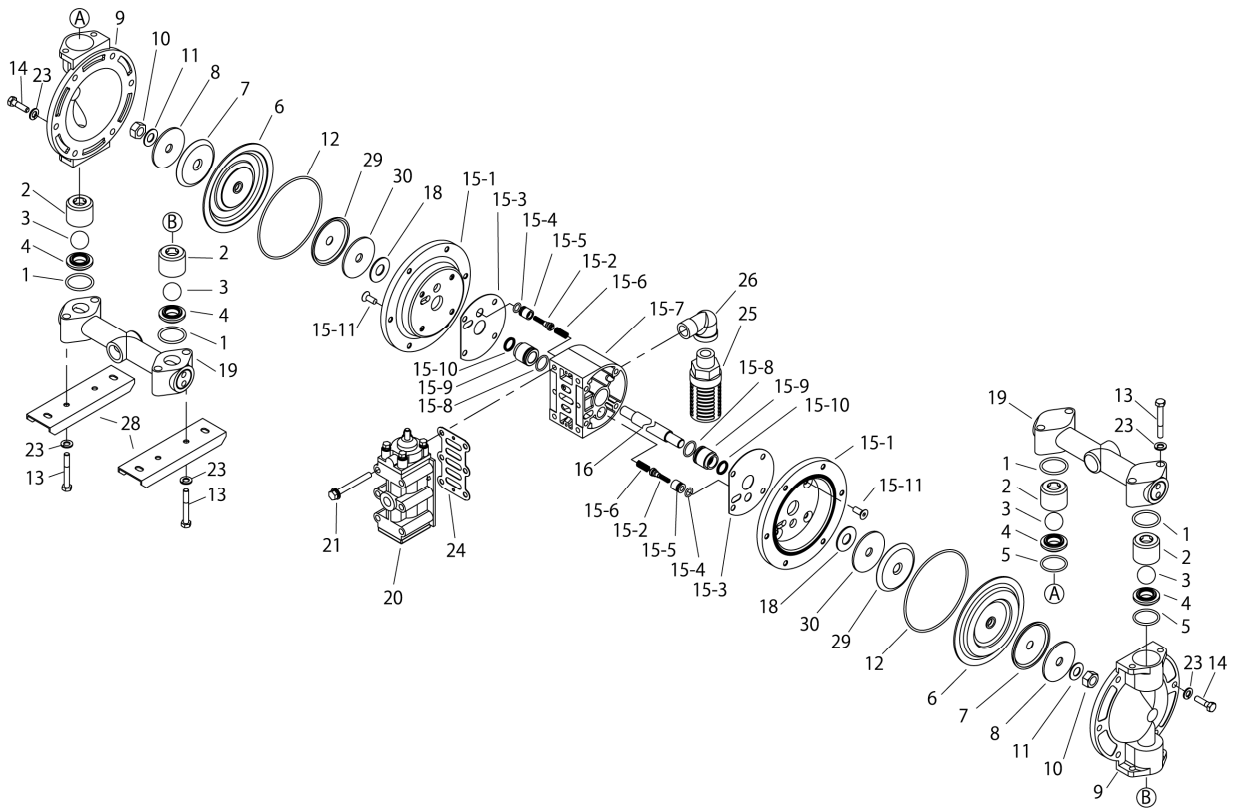
No.	部品番号	部品名称	員数
13-2	680454	レギュレーター	1
13-3	680221	圧力計	1
13-4	851696	ダイヤフラムポンプ	1
13-5	771246	パッキン	2
13-6	709940	パイプ	2
13-7	611155	ボルト	4
13-8	631013	平座金	8
13-9	627012	ナット	4
13-10	686064	カムタイトF 3/4	2
13-11	682371	三方バルブ	1
13-12	710183	ロングニップル	2
13-13	634034	ストリートエルボ	2
13-14	710184	フタ(Ⅱ)	1
13-16	770551	ゴム足	4
13-17	682771	バルブ	1
13-18	681859	ニップル	1
13-19	631420	バネ座金	4
13-21	684369	三方バルブ	1
13-22	680080	ユニオンアダプター	1

805300 蓋組立 (DC-100NP 用)



No.	部品番号	部品名称	員数
20-1	686983	プラグ	1
20-2	634259	ニップル	1
20-3	833236	蓋組立	1
20-4	717368	パイプ	1

851696 NDP-20BAH 部品分解図 (DC-100 用)



No.	部品番号	部品名称	員数
1	640036	Oリング (NBR)	4
2	711700	バルブ受け	4
3	773126	ボール (TPEE)	4
4	590086	バルブシート	4
5	640132	Oリング (NBR)	2
6	771362	ダイヤフラム (TPEE)	2
7	709153	センターディスク	2
8	709152	座金	2
9	711686	アウトチャンバー	2
10	682263	ナット	2
11	682730	皿バネ	2
12	640151	Oリング (NBR)	2
13	611159	ボルト	8
14	611151	ボルト	12
15-1	715937	エアチャンバー	2
15-2	802360	パイロットバルブ組立	2
15-3	771057	ガスケット	2
15-4	640009	Oリング (NBR)	2
15-5	771945	バルブシート	2

No.	部品番号	部品名称	員数
15-6	708666	スプリング	2
15-7	709154	ボディ	1
15-8	685276	Oリング	2
15-9	780324	スロートベアリング	2
15-10	685414	パッキン	2
15-11	682486	皿ボルト	8
16	709163	センターロッド	1
18	771054	クッション	2
19	831243	マニホールド組立	2
20	802361	バルブボディ組立	1
21	682265	ボルト	6
23	631916	波形バネ座金	20
24	771056	ガスケット	1
25	804697	サイレンサー組立	1
26	634034	ストリートエルボ	1
28	709157	ベース	2
29	716225	センターディスク	2
30	716226	座金	2

11. 主要諸元

■仕様

型式	DC-100	DC-100NP
製品番号	880576	880896
油槽容量	約100L	
常用エア圧力	0.2 ~ 0.7 MPa	—
環境温度範囲	0 ~ 70 °C	
流体温度範囲	0 ~ 70 °C	
最大吐出量 *1	54 mL / min	—
最大エア消費量 *1	600 L / min (ANR)	—
全高	800 mm (最大1590 mm)	
全巾	495 mm	
奥行	1650 mm	
質量	89.3 kg	73.5 kg
付属品	851696 NDP-20BAH ダイアフラムポンプ 802297 サクションホース組立	無し

*1 条件：エア圧 0.7 MPa、オイルシエル・ヒリックス 10W-30、油温 20°C

12. 製品保証登録シート

- ・お手数ですが、弊社 HP <https://www.yamadacorp.co.jp> からご登録または下記のシートをコピーして必要事項をご記入の上、下記弊社宛てにご送信ください。（フリガナ指定の項目は、必ずご記入ください。）

製品保証登録シート																														
フリガナ 貴社名 _____	フリガナ ご担当者名 _____																													
郵便番号 _____	ご所属 _____																													
フリガナ ご住所 _____ _____	ご連絡先 T e l . () _____ - _____ F a x . () _____ - _____ Eメールアドレス _____																													
<p>■ 貴社の業種を下記より選んで○で囲んでください。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">1. ガソリンスタンド</td> <td style="width: 33%;">2. 自動車整備業</td> <td style="width: 33%;">3. 自動車部品製造</td> </tr> <tr> <td>4. 車両・造船業</td> <td>5. 製鉄業</td> <td>6. 機械加工業</td> </tr> <tr> <td>7. 機械製造業</td> <td>8. 電気機械器具製造</td> <td>9. 半導体製造業</td> </tr> <tr> <td>10. 化学・プラント</td> <td>11. 建築・土木</td> <td>12. 塗料・インキ製造業</td> </tr> <tr> <td>13. 薬品・樹脂</td> <td>14. 食品製造業</td> <td>15. 塗装業</td> </tr> <tr> <td>16. 鉄道・バス・運輸業</td> <td>17. 窯業・陶器製造</td> <td>18. 印刷産業</td> </tr> <tr> <td>19. 鋳造業</td> <td>20. 石油産業</td> <td>21. 電気部品製造</td> </tr> <tr> <td>22. 軽金属・非鉄</td> <td>23. 織物・家具</td> <td>24. パルプ</td> </tr> <tr> <td colspan="3">25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）</td> </tr> </table>				1. ガソリンスタンド	2. 自動車整備業	3. 自動車部品製造	4. 車両・造船業	5. 製鉄業	6. 機械加工業	7. 機械製造業	8. 電気機械器具製造	9. 半導体製造業	10. 化学・プラント	11. 建築・土木	12. 塗料・インキ製造業	13. 薬品・樹脂	14. 食品製造業	15. 塗装業	16. 鉄道・バス・運輸業	17. 窯業・陶器製造	18. 印刷産業	19. 鋳造業	20. 石油産業	21. 電気部品製造	22. 軽金属・非鉄	23. 織物・家具	24. パルプ	25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）		
1. ガソリンスタンド	2. 自動車整備業	3. 自動車部品製造																												
4. 車両・造船業	5. 製鉄業	6. 機械加工業																												
7. 機械製造業	8. 電気機械器具製造	9. 半導体製造業																												
10. 化学・プラント	11. 建築・土木	12. 塗料・インキ製造業																												
13. 薬品・樹脂	14. 食品製造業	15. 塗装業																												
16. 鉄道・バス・運輸業	17. 窯業・陶器製造	18. 印刷産業																												
19. 鋳造業	20. 石油産業	21. 電気部品製造																												
22. 軽金属・非鉄	23. 織物・家具	24. パルプ																												
25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）																														
ご購入年月日	_____ 年 _____ 月 _____ 日	主なご用途																												
ご購入販売店	製品名（型式）																													
	製品番号																													
	SERIAL No.																													

※個人情報 は 当社の個人保護方針に基づき適切な安全対策のもと管理し、お客様の同意なく第三者へ開示、提供いたしません。

宛先
株式会社 ヤマダコーポレーション
営業本部
TEL. 03-3777-4101
FAX. 03-3777-3328

13. 保証規定

本製品は、厳重な検査に合格した後、皆様のお手元にお届けしております。取扱説明書、本体注意ラベルなどの注意書に従って正常なご使用をされたにも拘わらず保証期間内に万一、弊社の責任に基づく故障がございました場合には、納入日より12か月を保証期間として、当該品を無償にて欠陥部品の手直し、修理、または新品と交換させていただきます。

ただし、二次的に発生する損失の補償及び次の場合に該当する故障についての保証は対象外とさせていただきます。

1.保証期間：製品を納入申し上げた日より起算して12か月間といたします。

2.保証内容：保証期間中に、本製品を構成する純正部品の材料、もしくは製造上の欠陥が表われ、弊社がこれを認めた場合、修復費用は全額負担いたします。

3.適用除外：保証期間中であっても、下記の場合には適用いたしません。

- (1) 純正部品以外の部品を使用された場合に発生した故障。
- (2) 使用・取扱上の過失による故障、保管・保安上の手入れ不十分が原因による故障。
- (3) 製品の構成部品を腐食・膨潤、または溶解するような液体を使用されて生じた故障。
- (4) 弊社、または弊社の販売店・指定サービス店以外の手によって分解修理がなされた場合。
- (5) 製品に弊社以外の手によって改造・変更が加えられ、これが原因で発生した故障。
- (6) パッキン、Oリング、ホースなどの消耗部品の摩耗。
- (7) 指定外の電源(電圧)で使用された事により発生した故障及び損傷。
- (8) お買上後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。
- (9) 火災、地震、水害、及びその他天災、地変などの不可抗力による故障及び損傷。
- (10) 不純物や過度のドレンが混入した圧縮エアを動力として使用したり、指定の圧縮エア以外の気体・液体を動力として使用したりした場合に発生した故障。
- (11) 過度に摩耗性を有する材料や、本製品に不適當な油脂を使用された場合の故障。
- (12) 日本国外においてご使用の場合。

尚、本製品及びその付属品に使用されているゴム部品など、あらゆる自然損耗する部品、消耗部品ならびに下記部品については、保証の適用から除外させていただきます。

・ホース類 ・各種パッキン類 ・コード類

4.補修部品：補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年とさせていただきます。製造打ち切り後5年を経過したものにつきましては、供給いたしかねる場合もございますので、何卒ご了承ください。

MEMO.

株式会社ヤマダコーポレーション

本社・営業本部 〒143-8504 東京都大田区南馬込1丁目1番3号

ホームページ <https://www.yamadacorp.co.jp>

E-mail sales@yamadacorp.co.jp



札幌営業所 東京営業所 大阪営業所 福岡営業所

仙台営業所 名古屋営業所 広島営業所 相模原工場

製品お問合せはこちらへ ☎0120-518-055

202205.2635 900330